

みなぎる情熱、あふれる笑顔、スピードある行動力で

「新生・伊奈町」

創造のため全力投球してまいります。

伊奈町長 大 島 清



このたびの伊奈町長選挙におきまして多くの皆様のあたたかいご支持をいただき、伊奈町長に5月14日から就任させていただきました大島清でございます。

私は、上尾商工会議所に20年、伊奈町商工会に20年、そして伊奈町観光協会に7年という長い間、郷土の振興発展のために数々の事業に携わってまいりました。今後は、この経験を活かし「新生・伊奈町」の創造に向けて新たな気持ちで取り組む覚悟でございます。皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

私は「常にみんなの声に耳を傾け」「真摯な態度と感謝の気持ちを忘れず」「多彩な人脈を活かしどんどん行動」これらをモットーとして町政運営を行ってまいります。

活力ある伊奈町創造のために次の5大重点施策を掲げました。

★福祉の充実と健康長寿のまちづくり

健康長寿のまちづくりを進めるために、健康長寿教室やがん検診の充実、そして地域包括ケア体制の強化を図るとともに、地域支えあいの仕組みを構築します。

★教育の充実とスポーツ振興で豊かなまちづくり

まちづくりは人づくりから、町内小中学校の学力県下ナンバーワンを目指します。スポーツ宣言都市にふさわしい、誰もが参加しやすい施設の充実に努めます。

★産業振興で元気いっぱいのまちづくり

BUY伊奈（町内で買いましょ）運動を拡充し、町内産業の振興に取り組みます。

農業従事者や商工会、地元企業と連携し農産物の六次産業化を推進し特産品のブランド化を進めます。そして日本一のバラのまちを目指すとともに、既存資源を活かした観光地域づくりを進めます。

★町民に優しく防災に強い開かれたまちづくり

公共施設の耐震化を進めるとともに、防災訓練を充実させ防災に強いまちづくりをすすめます。ニューシヤトル全駅へのエレベーター設置や、路線バスの利便性向上を図ります。防災無線の屋内受信機普及に努め、防災情報の伝達向上を推進します。

★緑と自然を生かしたまちづくり

緑のトラスト保全地で、町民参加による桜並木の保全を

行います。緑豊かな伊奈の森を守り続け、自然とのふれあいを通じて豊かな心を育むことを目指します。

以上5大重点施策の中から主なものを述べましたが、早速に対応していかなければならない目標8項目を公約として強く訴えてまいりましたので、実現を目指して取り組んでまいりたいと考えております。

①保育所待機児童ゼロを継続するとともに、幼児教育の充実を図り日本一子育てしやすい町を目指します。

②第2子以降の出産時に国民健康保険から支給される出産育児一時金の額を現在の42万円から50万円に引きあげます。

③教育部局との連携を強化し、いじめや不登校への早期対応に取り組めます。

④現在中学生までとなっている医療費全額公費負担を高校生までに拡大します。

⑤元氣なお年寄りの生きがい対策とともに、健康維持と医療費の抑制を図るため、健康長寿教室を開設します。

⑥一人暮らしやお年寄りだけの世帯を地域のみなさんで

支える「お年寄り世帯見守りたい」を推進します。

⑦町への提言や要望などを直接話しあう「町長タウンミーティング」を新設します。

⑧町内産業（商業、工業、農業、観光）の振興を図り、活力ある伊奈町の創造、そして雇用の拡大と税収アップを進めます。

予算を伴うこともありますので、実現できるところから逐次対応していく覚悟であります。また、このたびの選挙にあたりまして、多くの皆様から町への要望や貴重なご意見を承りました。お寄せいただきましたご要望、ご意見をしっかりと今後の行政運営に

反映してまいりたいと考えております。

私の基本姿勢は、町民に開かれたあたたかいまちづくりであります。町民が主役の町政を実現することであり、大好きな伊奈町、伊奈町に住んでよかった、伊奈町にこれからはもう一つと住み続けたい、そんな伊奈町にするために町民や有識者をメンバーとする（仮称）行政改革推進会議により「新生・伊奈町」の創造に向けてスタートしてまいります。その先頭に立って大島清は全力投球でまいりますので、あたたかいご支援とご理解ご協力を賜りますようお願い申しあげ、あいさつとさせていただきます。

伊奈町長選挙の結果

任期満了（5月13日）に伴う町長選挙が4月19日に告示され、2氏が立候補し、4月24日に投票が行われました。

即日開票の結果、大島清氏の当選が決まりました。

④ 大島 清 (67歳) 8,887票
野川英和 (46歳) 3,678票

有権者数	33,991人
有効投票	12,565票
無効投票	205票
不受理・持帰り	なし
投票総数	12,770票
投票率	37.57%

退任の「あいさつ」

前伊奈町長 野川 和好



私は就任以来、「だれもが安心して安全に暮らせるまちづくり」を念頭に置き、多くの皆様のご指導やご協力のもと、一意専心、町政運営に取り組んでまいりました。

この3期12年を振り返ってみますと、1期目では「埼玉県の安心・安全なまち」をスローガンに住民の皆様と一体となって「活力ある」そして「躍進する」伊奈町を築くため、町内3か所に安心安全ステーションを設置、小針北小学校の開校、北保育所、子育て支援センター、心身障害児通園施設を開設いたしました。

2期目では「安心・安全住みよいまちづくり」でさらにパワーアップし、栄中央通りのバリアフリー化、新幹線側道一方通行化などの基盤整備のほか、中学校卒業までの子ども医療費の無料化、私立

認可保育園への助成など子育て支援の充実に努めてまいりました。また、安心安全な教育環境の整備として、小針小学校体育館の建替え、小針北小学校の増築、小中学校の耐震化等に取り組んでまいりました。

そして、3期目では「未来を拓く 安心安全のまちづくり」とし、つくばみらい市と友好都市協定を、山形県鮭川村とは災害時における相互応援に関する協定を締結しました。また、消防力の向上を図るため消防自動車2台を更新、教育面では町内すべての小中学校にエアコンを設置しました。そして、この3月にいな穂街道が全線開通となりました。このように各分野において事業を展開させていただけたのも、ひとえに町民の皆様にあたたかいご支援並び絶大なご協力をいただいたことです。終わりに町民の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしますとともに、心から感謝とお礼を申しあげ、退任のあいさついたします。